

2014年9月15日発行

三輪田学園中学校高等学校
発行 入試対策委員会
千代田区九段北 3-3-15
Tel. 03(3263)7801



夏休みをジャンプ台に 2学期スタート!

9月5日、2学期始業式が行われました。長かった夏休みが終わり、いよいよ忙しい2学期の始まりです。

始業式では英語を混じえた校長のスピーチがあり、皆、元気よく英語で答えていました。「この夏は英語で外国の方と交流する機会が多かった。グローバル社会になるという実感をもった。テストに受かるための英語だけでなく、コミュニケーションの手段として、生きた英語を

学んでほしい。」と校長は語りました。日本史が専門で英語は苦手だったという校長。「でも、いつでも学び直しができる」とのこと。「一生勉強ですね。」と話していました。

2学期は三輪田祭が10月最初の土日にあるため、9月中は生徒は準備に大忙しです。三輪田祭が住むと、すぐに中間試験、その後高校生は来年の科目選択となります。夏休みの経験を、着実にステップアップしてほしいと思います。



書道クラブ 合宿で大作に挑戦



今年の夏休みは、補習が充実

今年度から夏休み期間中に補習と部活・三輪田祭準備の時間を分離する期間が設けられました。夏休みに入った7月23日から7月いっぱい、中3以上の学年ではさらに8月25日以降も分離期間となりました。この期間は、基本的には午前中に補習がはいり、クラブなどは午後からとなります。「去年まではクラブに出ると補習に出られず困ったこともあったが、今年はそういうことがなくてよかった。」と高校生。各学年ともこの時期を中心に補習・補講の時間割を組みますが、講座数が多すぎて入りきらない高2や高3は、その限りではありません。すべての期間を分離期間としてしまうと、部活や三輪田祭準備に支障があるのでは?というところで、ぎりぎりの設定となったのです。中学1年生はこの分離期間の中で、英会話の集中授業がありました。ふだんの授業では行えないような、ネイティブの先生との楽しい会話に、生徒たちは大満足だったようです。夏休みの終わりには中1追分合宿、中2イングリッシュ・キャンプ、高1イングリッシュ・サマースクールなどの学年行事もありました。詳しくは2ページ以降でお伝えします。

特集

ミワダの夏休み

(2)



三輪田学園の夏休みは7月20日から9月4日まで、約45日。今年から補習と部活動や三輪田祭準備などを分離する期間が設けられましたが、生徒たちは学期中とはちがった様々な活動をしています。学期中には実施できないような集中講座や合宿など、様々な経験が、生徒たちをより豊かに育てます。「夏休みをジャンプ台に」。2学期からの学校生活のモチベーションアップに繋がります。



軽井沢追分寮

* クラブ合宿

三輪田学園には軽井沢町追分に学校の夏期宿泊施設があります。多くのクラブはここで合宿を行い、三輪田祭のための準備をしたり、親睦を深めたりします。長野新幹線を使えば1時間半程度で行ける場所にあり、広い校庭や体育館も併設されている便利できれいな宿



音楽クラブ



美術クラブ

舎。クラブ合宿は一日中集中して部活できるので、実力アップに確実に繋がっています。しかし、近年付近の宅地化が進み、器楽クラブや天文クラブなど、せっかくの施設で合宿することができないクラブもできています。テニスクラブは校庭での練習の他、近くの町営のテニスコートを借りて練習をしています。

* 中1追分合宿



中学1年生は8月21日からクラスごとに3泊4日のクラス合宿を行います。初日は寮の周辺を散策したり、ゆっくり過ごし、夜はこの日のために準備してきた研究発表を班ごとに行います。2日目はバスで浅間山の周辺へ。天明3年の大噴火で埋没した鎌原村の上に立つ孀恋郷土資料館で、噴火の際のお話を伺い、観音堂や村を見学しました。その後、溶岩流が冷え固まってできた「鬼押し出し」を散策。昼食後、峯の茶屋から白糸の滝までハイキングしました。3日目は徒歩で寮近くの中山道追分宿跡へ。ここは江戸時代の宿場の面影を残しています。午後はスポーツ大会やレクで遊びます。



体操クラブ

翌日きちんとお掃除をして、帰京しました。中2からはクラブ合宿でまた追分寮に来ます。

1 学期の間に中学生徒会が種をまいたひまわりが開花し、鮮やかな黄色い花を楽しませてくれています。このひまわりは、福島復興プロジェクトの一環として始められたもので、福島から種を購入して学校で栽培し、種ができれば、また福島に送り返してたくさんのひまわりを咲かせる、いわばひまわりの里親になるというプロジェクトです。中学生徒会では、このプロジェクトの意志に賛同し、参加を決議。生徒会費で種を購入して評議委員会中心に種まきをしました。夏休みの間には生徒会委員だけでなく、クラブ部員の参加者を募り、自分たちで水やり当番を決めてお世話をしてきました。その甲斐あって、九月初めには開花し始め、今では50株以上のひまわりが咲いています。「このひまわりの種が福島で咲いて、復興に少しでもお役に立てたら嬉しいです。」と生徒会長は話していました。また、三輪田の卒業生で南相馬で看護師として勤務している方からは、「後輩がこういう取り組みに興味を持っているのはうれしい。福島は津波被害だけでなく原発問題があるので、復興が遅れている地域が多い。送られてきた種を植え、ひまわりを咲かせることが、復興のシンボルになるのではないかと話していました。



H26 第3回社会の問題より

三輪田の入試問題にチャレンジ!

2. 夏休みにめぐみさんはしょうゆ工場を見学しました。これをまとめた文を読み、質問に答えなさい。(一部改)

〈めぐみさんの文〉

私は7月26日に(1)県にあるしょうゆ工場を見学しました。(1)は江戸時代からしょうゆ生産がさかんで、現在でも全国で最もしょうゆの生産量が多い県です。しょうゆの原料は(2)と(3)と食塩です。蒸した(2)とってからくだった(3)に「こうじきん」を加えます。それが数日後には「しょうゆこうじ」になります。(…後略)

問1 空欄(1)にはいる県名を答えなさい。

問2 空欄(2)(3)には、下の表の(2)(3)と同じ農作物が入ります。

それぞれを答えなさい。

日本の(2)の自給率	7%
(2)の生産量	第1位 北海道 第2位 佐賀県

日本の(3)の自給率	11%
(3)の生産量	第1位 北海道 第2位 福岡県

正解：(1) 千葉県 (2) 大豆 (3) 小麦